

2020年1月29～27日
朝日（衆議院参議院予算委員会）

「頭痛いが、頭痛でないような」 焦点採録・参院委初日

朝日新聞デジタル伊沢友之、鶴岡正寛 2020年1月29日 21時11分

論戦の舞台は衆院から移り、参院予算委員会の審議が29日、開かれた。野党は安倍晋三首相らに対し、「桜を見る会」問題や自衛隊中東派遣、憲法などについての見解をただした。



参院予算委で、立憲民主党の石垣のりこ氏の

質問中、資料を見る安倍晋三首相=2020年1月29日午前11時31分、岩下毅撮影

自衛隊中東派遣 国民・森氏「海上警備行動、攻撃あった時できるか」

国民民主党・森ゆうこ氏（イラン司令官殺害と報復攻撃について）米国とイランはどちらも自衛権の行使と主張している。首相はどう考えるか。

首相 我々は当事者ではなく十分な情報を得ていないので、法的な判断を下す立場にはない。

森氏 無責任だ。自衛隊を（中東海域に）もう派遣している。

首相 無責任という指摘はあたらない。我が国に来るエネルギーの9割は中東地域からだ。日本関係船舶の安全を確保するのは政府の大きな責任だ。日本もイランと連絡をとり、これ以上のエスカレーションをするべきでないと言っている。ロハニ・イラン大統領も日本の自衛隊派遣について理解してくれた。

森氏（自衛隊法上の）海上警備行動は、イラン革命防衛隊から攻撃があった時にできるのか。

首相 そういう事態になることは想定していない。想定し得ない事態に対しての仮定の質問に答えることは差し控えたい。

森氏 大事なところなので逃げないでほしい。

首相 革命防衛隊と結びつけて質問されている中で、仮定の質問に答えることは無用な緊張を生むということも考えてほしい。

森氏 特別措置法はなぜ考えないのか。

首相（中東海域への自衛隊派遣は）現行の防衛省設置法および自衛隊法に基づいて対応可能だ。特措法の制定を含む新たな立法措置は必要ないと考えている。



憲法 社民・福島氏「首相に改憲の権限ない」

社民党・福島瑞穂氏 首相は憲法改正について、「私自身の手で成し遂げていく考えに揺るぎはない」と記者会見で言っている。首相に憲法を改正する権限はない。国会発議も国民投票も、権限はない。発言は間違っている。

首相 国会が発議することで最終的には国民投票で決める。会見で質問に答え、自民党総裁か首相かという立場を厳密に区分することなく発言した。党首という立場でも聞かれているわけだから、こういう決意を披瀝（ひれき）させていただいた。

福島氏 憲法の解釈を間違っている。首相としての発言ではないか。

首相 会見で、首相としてというより党総裁としての発言を求めたのだろうという観点から言った。リーダーシップをしっかり進めていこうということだ。

ちなみに、国会の施政方針演説でも憲法改正について言及している。憲法67条の規定に基づき、国会議員の中から指名された内閣総理大臣である私が、憲法に関する事柄を含め、政治上の見解、行政上の事項について説明を行い、国会に対して議論を呼びかけることは、禁じられているものではないというのが、従来の政府の立場だ。

桜を見る会 立憲・蓮舫氏「国民は首相説明に納得しているか」

立憲民主党・蓮舫氏 国民は首相の説明に納得していると思うか。

首相 国民の認識について、私が判断すべきものではない。

蓮舫氏（会で飲食物を提供し続けてきた会社）「ジェーシー・コムサ」の会長あるいは取締役夫妻を知っているか。

首相 知っている。

蓮舫氏（首相の妻）昭恵氏の紹介か。

首相 会長というより、役員と相当昔からの友人で、私自身もよく知っている。しかし、一切依頼を受けたことはない、ということをはっきりさせておかなければいけない。

立憲・石垣のりこ氏 首相は（地元事務所名で会を含む観光ツアーの参加を）「募っているのであって、募集しているのではない」と、頭痛いけれど頭痛ではないかのような答弁を（28日の衆院予算委の審議の中で）した。普通の人間には理解できないが、首相の中では整合性がとれているのか。

首相 私だけではなく、例えば自民党では、党の知りうる人たちの中でふさわしいと思われる人たちを推薦している。私の事務所を通じてということになれば、事務所で知りうる限りの人たちについて、様々な貢献をしている人も含めて募っている。

IR・政治とカネ 立憲・杉尾氏、案里氏側への資金「報告なかったのか」

国民・徳永エリ氏 野党提出の廃止法案を審議し、カジノ事業はやめるべきだ。

首相 国会で各党各会派が決めることだ。

社民・福島氏 2017年2月の（米経済人らとの）朝食会で首相がIR推進法成立を紹介した。誰のどんな歓迎コメントがあったか。

首相 IR関係者から、IR施設は観光立国をめざす日本にとって有益である点、IRに対する社会的懸念など課題解決に貢献したいなどの発言があった。

福島氏 首相は「(カジノ)基本方針に盛り込むことを検討す

る」と言ったが、業者との接触について、どんなルールを考えているか。

赤羽一嘉国土交通相 未定だが、会う場合は複数で議事録を残すとか、透明性を確保することで、自らが決めたルールの中で会う。それが意味のある接触ルールだ。

福島氏 接触ルールを破っているのが首相だ。

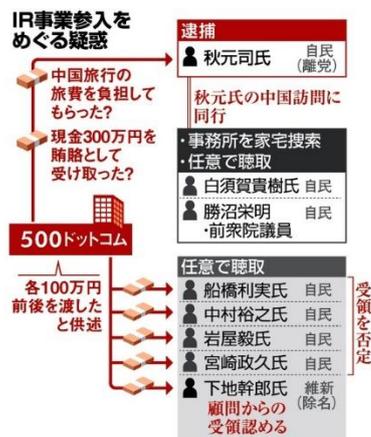
首相 そもそもルールがない。どの業界を（朝食会から）外してというのは考えられないことで、極めて失礼になる。IR についての要請や要求はその場では全くなかった。

立憲・杉尾秀哉氏 河井案里参院議員の「政治とカネ」問題。（党本部からの1・5億円の選挙資金提供は）報告もなかったのか。

首相 全て党の執行部に任せている。

杉尾氏 否定されない。

首相 報告は受けていない。



新型コロナウイルス 国民・徳永氏「対応が早かったのか、疑問だ」

国民・徳永氏 国内で人から人への感染の疑いが確認された。加藤勝信厚生労働相 これまでと事象が違っているという認識を持って対応しなければならない。

徳永氏 対応が早かったのか、はなはだ疑問だ。

首相 政府の最大の使命は国民の生命を守ることだ。しっかりと拡大防止に全力を尽くす。

立憲・杉尾氏 政府は対策本部を設置しているのか。

首相 明日設置する。

杉尾氏 (邦人帰国の)チャーター機の利用者に8万円請求するそうだが、政府が出しているのではないのか。

茂木敏充外相 これまでも本人に負担してもらっていることもあり、同様の措置をとる。

自民党・藤井基之氏 世界保健機関 (WHO) が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言した場合、国内の対応を強化する予定はあるか。

厚労相 状況をみながら、必要な対応をしっかりとっていきたい。

藤井氏 ワクチン、治療薬がないと言われる。予防薬、治療薬の研究開発の取り組みが重要だ。

厚労相 国際協力も含め、開発などにしっかりと取り組んでいく。

(ポイント)「多角形」の民意、受け止めよ 鶴岡正寛記者

国会審議の舞台が衆院から参院に移った29日、野党議員は安

倍晋三首相に、衆院とは違った角度の質問をぶつけた。

国民は「多角形」で「複雑」だから、「違った角度」で議員を選ぶことの重要性を説いたのは、故・金森徳次郎氏だ。吉田茂内閣で憲法担当の国務相を務めた。日本国憲法によって参院を置く際の答弁で、「多角形」論を主張した。

その参院は近年、決算重視を掲げる。立憲民主党の蓮舫氏はこの日、桜を見る会に予算を大幅に上回る支出が続いてきたことを取り上げ、「財政民主主義に違反している」と指摘した。決算に重きを置いた質問だったが、首相は「(招待)基準があいまいだったため人数が膨れあがった」などとほぐらかし、衆院での答弁と同じような内容の発言を繰り返した。

金森答弁から半世紀以上経った今も、民意は「多角形で複雑」だ。安倍内閣の支持率と不支持率は4割前後で拮抗(きっこう)する一方、桜を見る会問題への対応に納得しない人は7割を超える。そうした複雑な民意を受けた様々な疑問に丁寧に答えることこそ、参院審議に臨む首相のあるべき姿ではないか。(鶴岡正寛)

この日の質問者

蓮舫=立憲

- ・桜を見る会
- ・公文書管理

徳永エリ=国民

- ・新型肺炎
- ・防災対策
- ・IR汚職

石垣のりこ=立憲

- ・桜を見る会
- 杉尾秀哉=立憲

- ・新型肺炎
- ・iPS細胞研究予算
- ・河井案里参院議員の選挙費用

福島瑞穂=社民

- ・カジノ
- ・憲法改正
- ・自衛隊中東派遣

森ゆうこ=国民

- ・新型肺炎
- ・北朝鮮拉致問題
- ・自衛隊中東派遣
- ・消費増税の影響

藤井基之=自民

- ・新型肺炎
- ・CSF(豚コレラ)
- ・少子化問題

三宅伸吾=自民

- ・新型肺炎
- ・中国の習近平(シーチンピン)国家主席の国賓訪日

*敬称略

焦点採録・予算委2日目 桜を見る会で新事実も

朝日新聞デジタル星野典久、別宮潤一 2020年1月29日 0時21

「桜を見る会」の概要と国会での追及ポイント

2019年の「桜を見る会」の開催要領

1 期日 4月13日 (一部会期)

2 場所 新宿御苑

3 主催 内閣総理大臣

4 方法 招待者は、当日午前8時30分から午前10時30分までの間、随時入園參觀する。この間、来会者のために、茶菓の接待をする。

5 招待範囲

- 皇族、元皇族
- 各国大使等
- 衆・参両院議長及び副議長
- 最高裁判所長官
- 内閣総理大臣
- (中略)
- その他各界の代表者等

計 約1万人

6 撮影 平取



野党の主な追及点

後援会関係者の招待は税金の私物化では

ジャパンライフ元会長を首相が招待したか

2018年の自民党総裁選に利用したのでは

衆院予算委員会は28日、2日目の審議を行った。野党は初日に続き「桜を見る会」の問題を取り上げ、安倍晋三首相による「私物化」を迫及した。新型肺炎やカジノを含む統合型リゾート(IR)事業と政権との関係のほか、外交・安全保障問題などでも議論があった。

桜を見る会 首相「妻の意見を聞くことも」

無所属・小川淳也氏 首相は「招待基準があいまいで、結果として招待者数が膨らんだ」というが、歴代内閣全部同じ基準でやっていた。悪いのは(基準が)あいまいであることをいいことに、招待基準を悪用した安倍政権じゃないか。

首相 私は責任を感じているし、反省しなければならないと考えている。しかし、基準があいまいであったことは事実だ。

小川氏 (首相の妻) 昭恵氏の推薦枠もあったという答弁がすぐである。これはどういうルートなのか。

首相 各界で活躍されている人を幅広く把握する観点から、妻の意見を聞くこともあった。妻の意見を参考として事務所の担当者に私の意見を伝えた。

小川氏 昭恵氏のお考えを首相が審酌(しんしゃく)したということだと思うが、そこに公私混同批判は起きる。首相の公私混同疑惑には必ず昭恵氏の影がちらついている。

共産党・宮本徹氏 桜を見る会(のツアー)を申し込んだ方々に、安倍事務所は『桜を見る会』について(ご連絡)という文書を届けている。「この度は、総理主催『桜を見る会』へのご参加を賜り、ありがとうございます」と書いてある。日付は「2月吉日」と書いてある。桜を見る会の(正式な)招待状が發送されるのは3月の下旬や中旬。内閣府が取りまとめる前に安倍事務所に申し込めば参加が確定しているではないか。(首相は)「内閣府、内閣官房が最終的に取りまとめている」というが、事実上ノーチェックじゃないか。

首相 私の事務所に確認したところ、取りまとめる前のご指摘のような文書を発出していたことは事実だ。回数を重ねる中で推薦すれば招待されるだろうとの安易な臆測のもと、作業を進めてしまった。招待プロセスを無視した不適切な表現であり、問題があったと認識している。

IR問題 国民・後藤氏「カジノ企業幹部、首相に何を言ったか」
立憲民主党・本多平直氏 訪米した際にトランプ米大統領との少人数(会合)や公式の会見、ゴルフ場などで、(カジノ解禁の)要請や働きかけなど、カジノの話題が出たことはないか。

首相 IR という単語は出たとは全く記憶をしておりませんが、カジノについて全くその話題になったかどうかということについて、相当長時間いろいろな時間を過ごしているので全くなかったかどうか……。

本多氏 首相はシンガポールを訪問したときに、カジノも訪問されている。カジノ事業者のラスベガス・サンズ会長兼CEOを訪問したか。

首相 会長にはお目にかかっていないが、シンガポールで視察をした際、説明した人がちょっと誰だか覚えていないが説明は受けた。公式に視察をしているのだから、業者と会う、会わないの範疇(はんちゆう)には入らないだろうと思う。

国民民主党・後藤祐一氏 2017年2月10日、3人のカジノ関係の会社幹部が参加していた朝食会で、これらカジノ企業幹部は首相に何らかの発言をしたのか。

首相 カジノ、統合型リゾート施設は観光立国を目指す日本にとって有益である点についての発言があった。

後藤氏 米国の有名なカジノ企業幹部が「日本において、IRは経済にとって有益である」と(首相に)いうのは、参入したいという意味を示しているのとはほぼ同じではないか。

新型肺炎 自民・井野氏「邦人ケアのように」

自民党・井野俊郎氏 (チャーター機で移送される)現地邦人のケアはどのようにしていくのか。

首相 チャーター機に医師を同乗させて機内でも健康確認を行う。帰国後は一人一人の健康状態を改めて確認する。その後も2週間までの間、外出を控えて自宅などにおいていただく方向で検討している。

国民・後藤氏 潜伏期間にある方がいると、チャーター機の中でうつってしまうリスクがあるのではないか。

加藤勝信厚生労働相 搭乗する前に症状を聞き、すでに発熱など(感染の)疑いがある場合は、ゾーンをつくってそちら側に乗っていただく。空気感染ではなく、飛沫(ひまつ)感染することから、(飛沫感染の)範囲を超えれば感染する可能性は低い。(感染が疑われる場合は)マスクを装着していただく。

外交・安全保障 共産・藤野氏「トランプ氏に言質与えたか」

国民・大西氏 外交青書の北方領土の記載で「日本固有の領土」や「日本に帰属」との文言が削除された。従来の記述に戻せないのか。

首相 この70年4島に代を継いで住んでいる人もおり、島外に強制的に出すことを前提にすれば交渉は絶対に動かない中で、どういう形があるかということで新しいアプローチをとった。北方領土はわが国が主権を有する島々であるとの政府の立場には変わらない。

共産・藤野保史氏 米トランプ政権から在日米軍駐留経費について不当な増額要求が突きつけられている。大統領は日本の貢献は今後拡大し続けると言っている。言質を与えたのか。

首相 大統領のひとつ一つのコメントについては発言は差し控えたい。大統領には、我が国は適切に負担していると説明して

いる。

藤野氏 この場で負担増には応じられないとはっきり言うべきだ。

茂木敏充外相 現行の負担の特別協定は来年3月末まで有効であり、現時点で新たな協定に関する交渉は行われていない。

藤野氏 1978年に思いやり予算が始まり、43年で日本の負担は(計)10兆円に上る。他国と比べても極めて異常だ。さらに米国の兵器の爆買も予算に盛り込まれた。(詳しく)国会に説明しないまま、国民負担を増やしていいのか。

河野太郎防衛相 装備品の調達には日本製、米国製にかかわらず必要な装備品を検討し、主体的に判断している。

経済財政 麻生財務相「マーケットと仕事している」

国民・前原誠司氏 首相は施政方針演説で公債発行は8年連続の減額と語った。補正予算を含めた決算ベースではどうか。

首相 決算ベースではそうっていない。

前原氏 つまり施政方針演説はうそじゃないですか。

首相 うそは言い過ぎだと思うが、当初予算において公債発行を抑制することは極めて重要だ。政権交代以降では、公債発行額は決算ベースでも約13兆円減少している。

前原氏 13兆円のうちの9兆円強は消費税だ。(財政法上は半分以上を借金の返済にあてるべき) 剰余金を予算に繰り入れ、それで「公債発行が減らせた」は粉飾だ。

麻生太郎財務相 おっしゃることはもっとも。少なくとも当初予算では赤字発行額を減らす姿勢を示した。マーケットに与える影響は極めて大きい、我々はマーケットと仕事してまですんで、野党と仕事しているんじゃない。

前原氏 この政権は自分たちの7年間のストーリーを絶対崩したくない。一生懸命粉飾してでもそのストーリーに合うものを作る。首相は施政方針演説で日本経済は7年間で13%成長したと。OECD36カ国で何位か。

首相 実質成長率はOECD加盟国全体の年平均は2%程度。日本は1%程度と、低くとどまっているのも事実。だからこそ潜在成長率を高める必要がある。

前原氏 私が聞いた話をしていない。OECD36カ国で33位だ。これが安倍政権の世界の中での状況。民主党政権の悪口を言い、ののしり、結果的にコップの中のことだけにとらわれて取り残されている。民主党政権が終わった時の実質成長率20位から落ちている。

(ポイント)「証拠」示され、やっと語る首相の答弁 斉藤太郎記者

安倍首相が「桜を見る会」の問題で新たな見解を示した。首相の事務所が参加者を募った会の関連ツアーについて、募集プロセスを「不適切であり、問題があった」と認めた。

共産・宮本氏が「2月吉日」と記したツアーの文書の写しとされる資料を示し、内閣府が会の招待状を送る時期よりも募集が早いと指摘した。首相は「会の招待者は内閣官房・内閣府で取りまとめている」と説明してきたが、自分の事務所が招待を前提にツアーの募集をしている矛盾を突かれ、釈明した。

この日も首相は「記録がない」などと繰り返し、真相究明に後ろ向きな姿勢を続けた。相手から「証拠」を突きつけられると、そこで初めて仕方なく語りだす――。そんな姿勢が見える。(斉

藤太郎)

この日の質問者

大西健介=国民

・北方領土返還

・中国の習近平(シーチンピン) 国家主席の国賓訪日

小川淳也=無所属

・桜を見る会

・新型肺炎

川内博史=立憲

・桜を見る会

・大学入学共通テスト

前原誠司=国民

・首相の施政方針演説

・教育無償化

本多平直=立憲

・カジノ

・小泉進次郎環境相の政治姿勢

宮本徹=共産

・桜を見る会

馬場伸幸=維新

・新型肺炎

・憲法改正

井野俊郎=自民

・新型肺炎

・経済対策

後藤祐一=国民

・新型肺炎

・カジノ

藤野保史=共産

・在日米軍の駐留経費

杉本和巳=維新

・財政健全化

*敬称略。「無所属」は立憲、国民などとの野党統一会派に所属 安倍政権とカジノ

安倍政権は、カジノに国際会議場や大規模なホテルなどを併設する統合型リゾート(IR)を整備することを、成長戦略の目玉に位置づける。安倍晋三首相はかつて、超党派の議員連盟(IR議連)の最高顧問を務めていた。東京五輪後の2020年代半ばの開業を目指す。

【詳報】首相、河井氏陣営に秘書派遣認める「私の指示」

朝日新聞デジタル今野忍、菊地直己、三輪さち子、斉藤太郎、河合達郎 2020年1月27日 17時52分

シェア

2020年初の通常国会。噴出する疑惑に攻勢を強める野党、その行方は

通常国会の論戦が最初の山場を迎えます。27日から、安倍晋三首相ら全閣僚が出席し、衆参両院で相次いで予算委員会が開催。この日は衆院予算委が行われました。「桜を見る会」問題やカジノを含む統合型リゾート(IR)事業の汚職事件、辞任閣僚らの公職選挙法違反疑惑などをめぐる首相と野党の攻防をタイムライ

ンで速報し、記者が解説します。

寸評=菊地直己記者

数々の「疑惑」…従来の説明繰り返す首相、不誠実

与野党の論戦が本格化する衆院予算委員会の初日が終わりました。この日の焦点は、安倍晋三首相の「説明責任」でしたが、国会審議で首相がその責任を果たしたとは言えなさそうです。

とりわけ野党の質問が集中したのは、桜を見る会問題でした。首相がこの問題について「一問一答」形式の予算委で答弁に立つのは、実に昨年11月8日以来。首相は記者団などに対して「国会から求められれば、出て行って説明するのは当然のことだ」と言っていただけに、どのような説明をするのか注目が集まっていたからです。

しかし、ふたを開けてみれば、これまで菅義偉官房長官らが引いてきた安倍政権の「説明ライン」を越える答弁はありませんでした。従来の説明の繰り返し、という印象です。

例えば、首相の支援者らが多数招待されていたことを追及されると、首相は「招待基準があいまいであったために、歴代内閣でも地元の方々の出席はあった」。招待者名簿など公文書のずさんな管理を指摘されると、菅氏が「民主党政権時代を含め、招待者名簿の取り扱いが公文書管理法に違反するものだった」と答弁し、安倍政権の責任を転嫁する場面も見られました。

確かに首相の立場として答弁しづらい内容もあるかと思いますが、野党が取り上げたテーマは、報道各社の世論調査などを見ても国民が疑念を抱いていることばかりと言えます。首相や閣僚は耳の痛い質問でも正面から受け止め、できる限り誠実に答弁する——。明日以降の予算委の論戦では、そんな姿勢を期待したいと思います。

17:01

初日の審議終了

衆院予算委員会の初日の審議が終わった。

16:45

ジャパンライフ元会長招待？ 首相答えず

オーナー商法で行政指導を受けたジャパンライフの元会長が勧誘に「桜を見る会」の招待状を使っていたとされる問題。安倍晋三首相は元会長を招待したかどうか問われたが、「個人に関する情報」だとして答えなかった。

国民民主党の大西健介氏が「本人が『招待された』』と言っている。自ら公開している人に、なぜ『個人に関する情報だから回答できない』と答弁するのか。回答して困るのは、招待された人ではなく首相自身ではないか」と追及。だが、首相は「個人の言動を踏まえて政府として明らかにすることは、考えていない」として答えなかった。

首相はまた、ジャパンライフの元会長との関係については「多人数の会合で同席した可能性は否定しないが、1対1でお会いしたことはなく、個人的関係はない」と述べた。

16:15

法定上限を超える報酬、今井氏「資金が潤沢だったから」

「どうしてお金を払えたかといったら、これだけのお金をもらえたからです。資金が潤沢だったからではないか。結果的に自民党がたくさんのお金を渡したことが、こういう事態を招いたのではないか」

自民党の河井案里参院議員（広島選挙区）の陣営が昨夏の参院選で車上運動員に法定上限を超える報酬を支払ったとされる疑惑をめぐり、野党統一会派の今井雅人氏（無所属）は安倍晋三首相が疑惑の原因を作ったのではないかと追及した。党本部が河井氏陣営に1億5千万円もの資金を提供したからこそ、このような選挙違反疑惑を招いたという理屈だ。

首相は「私は案里氏だけでなく、全国の候補者の応援をしている。広島選挙区で（河井氏と自民現職の）どちらか一方に肩入れしたということではない」と反論。「さまざまな指摘について、それぞれの政治家が自ら襟を正し、自ら可能な限り説明責任を果たすべきものだと思う」と述べた。



衆院予算委で、野党統一会派の今井雅人氏の質問に答弁する安倍晋三首相=2020年1月27日午後4時28分、岩下毅撮影

16:15

河井案里議員に秘書応援、首相「私の指示」

自民党の河井案里参院議員（広島選挙区）の陣営が、昨年の参院選で党本部から1億5千万円の資金を受け取った問題に関連し、安倍晋三首相は「私の秘書が、私の指示によって広島に応援に入ったということだ」と述べ、山口県の地元事務所の秘書が河井氏の選挙を応援したことを認めた。

ここから続き

河井氏への首相の強力なテコ入れぶりが明らかになった格好だ。一方で首相は、秘書が応援のためどの程度広島入りしたかについては、「頻度は承知していない」と語った。

広島選挙区は改選数2で、河井氏は初当選したものの自民現職が落選した。野党統一会派の今井雅人氏（無所属）は「河井氏の応援に入り、もう1人の自民党候補には入らなかったのか」と質問。これに対し、首相は「2人当選させるにはどうしたらいいか。（河井氏は）候補者として厳しく知名度もなく、突然立候補した。そちら側にうちの秘書を入れたということだ」と答弁した。

寸評=菊地直己記者

黒岩氏、質問は詳細だが…

「国会の華」と言われる予算委員会は、野党議員の腕の「質問力」の見せどころでもあります。限られた時間で最高権力者にどんな質問をぶつけるのか。立憲民主党の黒岩宇洋氏は、「桜を見る会」にテーマを絞り、安倍晋三首相や菅義偉官房長官に論戦を挑みました。

黒岩氏は、立憲などの野党統一会派と共産党などで作る野党追及本部の事務局長を務めています。桜を見る会の問題が浮上した昨年来、内閣府や内閣官房の担当者からヒアリングを重ねてきました。いわば、野党側では桜を見る会問題のエキスパートと言えます。

では、どんなやりとりだったのでしょうか。

黒岩氏はこの日の質問で、政府が「廃棄した」と主張する昨年の招待者名簿や電子データ廃棄記録（ログ）の取り扱いなどにつ

いて、追及し続けました。「(追及本部で) 桜を見る会のヒアリングを30回やってきたが、少なくとも10回以上、内閣府担当者はログはあると答えている」。担当者から引き出した発言を示すなど、質問は具体的でした。

厳しい指摘に対し、ログの調査を拒否し続けている菅氏は「国家機密に関わる情報を含めた調査になり、漏洩(ろうえい)の危険が増す」と釈明に迫られました。

ただ質問は詳細でしたが、独自の調査などによって新事実を突きつける、という場面は見られませんでした。そのせいか、安倍首相や菅氏の答弁は昨年の臨時国会やこれまでの記者会見の線を踏み越える内容にはなりません。質問、答弁ともに物足りなさの残る論戦となりました。



衆院予算委で、立憲民主党の黒岩宇

洋氏の質問に対する菅義偉官房長官(左)の答弁中、野党席からの発言に抗議する安倍晋三首相(前列右端) =2020年1月27日午後3時19分、岩下毅撮影

15:40

桜を見る会の夕食会、首相「明細書は見ておりません」

「ホテル側が……」

安倍晋三首相は立憲民主党の黒岩宇洋氏の質問に対し、こう繰り返した。「桜を見る会」の前日に首相の後援会が東京都内のホテルで開いた夕食会をめぐるやりとりでのことだ。

野党側は1人5千円という夕食会の会費を「安すぎる」と疑問視し、明細書の公表を求めてきた。首相はこの日、「明細書は、私は見ておりません」と答弁。自身で確認する考えのないことを示した。

代わりに首相が口にしたのが、「ホテル側」という言葉。黒岩氏は「鈍感すぎる。事実を確認するのが当たり前だ」と批判したが、首相は「ホテル側から5千円というものが提示され、ホテル側からこの領収書が出された」「明細書については事務所に任せしており、事務所とホテルが交渉した結果だ」と答えた。

黒岩氏が国会の秘密会に明細書を示すよう求めても、首相はこう答え、黒岩氏の要求を拒絶した。「私がホテルに指示できる関係にはない。(ホテル側は明細書について) 公開を前提にしていない、営業上の秘密もある、ということだ」

15:30

桜を見る会の名簿ログ、菅長官「調べる必要ない」

「桜を見る会」の招待者名簿の電子データ廃棄記録(ログ)について、菅義偉官房長官は公文書管理法のルールに基づき対応しているとして「調べる必要はない」と述べた。立憲民主党の黒岩宇洋氏への答弁。

政府はこれまで、昨年の招待者名簿の電子データについて「5月7~9日に消去した」と説明してきた。黒岩氏は、廃棄日の説明が「職員の聞き取りの記憶と証言」にとどまるとして、内閣府の電子データのログを調べるべきだと求めた。菅氏はログの確認をしていないことを認めた上で、調査の必要性を否定。調査しな

い理由について、国家安全保障局も同じシステムを利用していることから「国家機密に関わる情報を含めて調査することになり、漏洩(ろうえい)の危険が増す」と述べた。

15:05

カジノ解禁法の棄権の赤羽国交相「たまさか、担当大臣に」

カジノを含む統合型リゾート(IR)を担当する公明党の赤羽一嘉・国交相は、2016年に議員立法の「カジノ解禁法」が成立した際、採決を棄権していた。このことを指摘された赤羽氏は「(解禁法は)有害な影響の排除について触れられていなかったから賛成できなくて、退席した。(18年に成立した) 実施法では、有害影響の排除に触れているので賛成した。たまさか、担当大臣になっている」と弁明した。

赤羽氏がさらに「私たちがめざすIR事業は、カジノ目的の旅行者を誘客することを主たる目的とする事業ではない」と強調すると、野党議員は「えーっ?」と声を上げた。立憲民主党の大串博志氏への答弁。

14:40

首相、政治資金の運用「党本部に任せている」

自民党の河井案里参院議員の陣営が昨夏の参院選で党本部から1億5千万円を受け取った問題をめぐり、立憲民主党の大串博志氏がさらに安倍晋三首相を追及した。資金提供の事実関係の確認を求められた首相は「私は自民党総裁として日々、各選挙区の活動や党勢拡大の状況の報告を受け、必要な指示をしている。ただ、政治資金の運用については党本部に任せている」と述べ、説明を避けた。

大串氏が「(資金提供は) 知らなかったということか」と重ねてたただしたが、首相は「個々の党本部から候補者、議員などへの支援について答えることは控えたい。一般論として政治資金の運用は党本部、執行部に任せている」と述べるにとどめた。

14:25

夫婦別姓に関するヤジ、首相「コメントする立場にない」

選択的夫婦別姓に関して「それなら結婚しなくていい」というヤジが22日の衆院代表質問中に飛んだとされる問題。立憲民主党の大串博志氏は安倍晋三首相に対し、ヤジの事実確認を求めているとした上で、「ヤジは飛んだのか。それは(自民党の) 杉田水脈議員なのか」と追及した。

安倍首相は「質問通告はいただいたが、ここに総理大臣として立っている。院内の不規則発言について、私が調査する、そしてコメントする立場にない」として答えなかった。また、ヤジ問題の取り扱いについては「自民党の森山裕・国会対策委員長を信頼して任せている。不規則発言は、国会対策委員会の政党間のやりとりに対応をゆだねたい」と述べるにとどめた。

大串氏は、首相が施政方針演説で多様性を認める社会を強調したことを挙げて、「口だけなんじゃないか。本当に多様性を大切にしないのなら、敏感に反応すべきだ」と批判した。

14:15

江田氏、IRは「カジノじゃない」を批判

カジノを含む統合型リゾート(IR)事業をめぐる汚職事件をめぐり、野党統一会派の江田憲司氏(無所属)は首相に対し「『IRはカジノじゃない』なんて、国民をだますのはやめてほしい」と述べ、安倍晋三首相の姿勢を批判した。

江田氏は、政府がIR事業の目的が観光立国をめざすためだとする主張に対し、疑問があるという立場から質問。首相が「IRはカジノだけではなく、国際展示場や大規模な宿泊施設、家族で楽しめるエンターテインメント施設で、観光先進国をめざすためだ」と答弁すると、江田氏は「IR収益の8、9割はカジノの収益。カジノ抜きでIRはあり得ない」と反論。さらに、「IRは、結局は日本人からカネを巻き上げ、外国、特に米国に送金するシステムだ」と批判した。



衆院予算委で、野党統一会派の江田

憲司氏の質問に対する安倍晋三首相（左）の答弁内容に関して、委員長席に詰め寄る野党理事ら（右）=2020年1月27日午後2時11分、岩下毅撮影

13:55

河井案里議員側への1億5千万円、首相「問題ない」

野党の質問時間になり、政権をめぐる疑惑が次々と取り上げられ始めた。

野党統一会派の江田憲司氏（無所属）は「桜を見る会」問題に続き、自民党の河井案里参院議員の陣営が昨夏の参院選で党本部から1億5千万円を受け取った問題について言及。選挙資金を差配する権限を持つ党総裁である安倍晋三首相に対し、金額の大きさについて斬り込んだ。

ただ、首相は正面から答えなかった。「自民党の政治活動について首相の立場で答えるのは差し控えたい」と述べた上で、「一般論として」と前置きし、こう続けた。「党本部から党支部への政治資金の移転は問題ないと認識している。個別の事例については答弁を差し控えたい」



衆院予算委で質問する野党統一会派

の江田憲司氏=2020年1月27日午後1時44分、国会、伊藤進之介撮影

13:40

桜を見る会、首相「歴代内閣でも…」

「李下（りか）に冠を正さずという言葉がある。何度、李下で冠を正せばすむのか」

野党統一会派の江田憲司氏（無所属）は、「桜を見る会」に安倍晋三首相の地元後援会から多数招待されていた問題を取り上げて、こう皮肉った。

江田氏は、橋本龍太郎元首相の秘書官を務めた経験があることから、「橋本首相も地元の後援会の人は一切呼んでいない」と指摘。「権力の私物化だと容易に想像できる。どういう発想であなたは呼ぼうと思ったのか」とたどした。

安倍首相は「歴代の首相でも招待基準があいまいだったのは事

実だ。幅広く招待してきたことの積み重ねで、結果的にふくれあがった。そのことは反省しなければならない」と答えるのみで、自分の後援会関係者を招待したことについての責任には触れなかった。また「歴代内閣でも、地元の方々の出席はあった。私の経験から知っている」とも語った。

13:00

審議始まる

午後の衆院予算委員会の審議が始まった。最初は公明党の国重徹氏。野党の質問は午後1時半ごろからの予定。



衆院予算委に臨む野党議員の手もとはは、

週刊誌のコピーが置かれていた=2020年1月27日午後1時12分、岩下毅撮影

寸評=三輪さち子記者

「新旧防衛相対決」も

午前中の審議は与党議員が質問しました。安倍晋三首相を持ち上げる「ヨイショ」質問が目立つ一方、政府への突っ込んだ場面もありました。元防衛相の小野寺五典氏（自民党）が、河野太郎防衛相に質問するという「新旧防衛相対決」です。

中東海域への自衛隊派遣をめぐり、外国籍の日本関連船舶が攻撃を受けた場合は、自衛隊が武器を使うことはできないという法律の「穴」を突きました。この状況で困るのは、現場で活動する自衛官たちでしょう。

これに対して、河野防衛相は現行法で十分という答弁に終始しました。

午前中で突っ込んだやりとりが光ったのはこの場面くらいで、他はあまり見られませんでした。与党からも政府が進める政策への遠慮のない突っ込んだ質問が相次ぐような、生き生きとした国会審議を期待したいです。

12:00

午前の質問終わる、野党は午後1時半すぎ

通常国会の衆院予算委員会の初日は、午前中の論戦が終わった。午後は主に野党が質問する。

11:40

厚生労働相「新型肺炎、過剰な心配不要」

加藤勝信・厚生労働相は衆院予算委員会で、新型コロナウイルスによる肺炎に対する日本国民の対応について「過剰な心配はしていただく状況にはないと思っている」と述べた。「通常のかぜやインフルエンザの時のせきのエチケット、手洗い、うがいの励行などをお願いしている。そうしたことに努めていただきたい」と呼びかけた。

加藤氏が特に必要性を強調したのはマスクの着用。「せきをするときにつばきとかが拡散すると、感染につながる。マスクをしたり、ティッシュをしったりして、それを防いでいただきたい」と述べた。さらに「手で防ぐのはやめていただきたい。手から手への感染となるので、マスク、場合によっては衣服などで防ぐようお願いしている」と語った。

公明党の国重徹氏への答弁。

11:25

チャーター機、あすにも派遣

中国・武漢市（湖北省）の在留邦人の帰国をめぐり、自民党の二階俊博幹事長は27日午前、チャーター機を28日にも派遣する、との報告を政府から受けたことを明らかにした。自民党の緊急役員会後に記者団に語った。



新型コロナウイルスに関する緊急役員会後、記

者団の取材に応じる自民党の二階俊博幹事長。右は稲田朋美幹事長代行=2020年1月27日午前、自民党本部、鬼原民幸撮影

11:20

9条改正、首相が意欲

安倍晋三首相は衆院予算委員会で、憲法9条を改正して「自衛隊を明記」することへの意欲を改めて語った。小野寺五典元防衛相（自民党）の質問に答える形で強調した。

首相は「（私が）自民党総裁として一石を投じた考えは、現行の憲法第9条の1項2項を残した上で、自衛隊の存在を憲法に明記することだ」と答弁。中東派遣など自衛隊が任務を果たしている事例を引き、「近年の調査でも自衛隊は合憲と言い切る憲法学者は2割にとどまっている。その結果、多くの教科書には自衛隊の合憲性には議論があるとの記述があり、自衛隊諸官の子どもたちもこの教科書で学んでいるという現実がある」と述べた。

さらに、「このような状況に終止符を打つことは、私たちの世代の責任ではないか。そのためにも憲法にしっかりと自衛隊を明記する」と語った。

安倍首相が提起する「9条の1項2項をそのままにして自衛隊を明記」という案をめぐるのは、自民党内にも『戦力の不保持』という2項をそのままに自衛隊を明記しても、自衛隊は戦力ではないのかという議論が残り、何も解決しない（防衛相経験者）との指摘がある。だが、安倍首相はこの日の答弁で「政治の場において彼らの正当性をしっかりと明らかにしておく。そういう責任が政治家にはあるのではないかと述べるなど、与党内の懸念には触れなかった。

11:10

新型肺炎の影響、菅長官「状況を注視したい」

新型コロナウイルスによる肺炎の拡大をめぐり、菅義偉官房長官は午前の記者会見で、中国政府が団体旅行の禁止を決めたことによる日本の観光や経済への影響について、「今回の件がどの程度の期間にわたって影響を及ぼすことになるのか、まずはじっくりと情報収集、状況を注視したいと思う」と述べた。



衆院予算委で答弁する菅義偉官房長官

=2020年1月27日午前10時4分、岩下毅撮影

みどころ解説=斉藤太郎記者

野党議員が登場、首相答弁に注目

（みどころ解説=斉藤太郎記者）

衆院予算委員会の午後の質疑には野党議員たちが登場し、安倍晋三首相の答弁場面が増えそうだ。「桜を見る会」やIR汚職だけでなく、新たに持ち上がった河井案里参院議員（自民党）陣営への選挙資金「1億5千万円」問題をめぐる論戦も注目される。首相が答弁を誤れば、自民党議員からも厳しい批判にさらされる可能性があるからだ。

選挙違反疑惑が浮上している河井氏（参院広島選挙区）の陣営は、昨年7月の参院選で党本部から1億5千万円の資金を受け取っていたとされる。河井氏自身が23日、週刊文春の報道を受けて事実関係を認めた。

党内には波紋が広がる。

昨年の参院選で党本部が候補者に提供した資金は、同じ広島選挙区で公認された岸田派重鎮の溝手顕正・元防災担当相らを含め1500万円ほどだという。河井氏は相場の10倍の資金を受け取っていた計算になる。

金額ばかりでなく、広島選挙区の特異な構図が、党内の不協和音を生んでいる。

溝手氏と確執があったとされる首相は、菅義偉官房長官らとともに河井氏を擁立。「官邸」上げて全面支援した格好で、その結果、溝手氏は次点で敗れた。「ポスト安倍」に向けて禅譲をうかがうとも言われる岸田文雄政調会長だが、心中穏やかなわけがない。

午後1時半過ぎから質問に立つ野党統一会派の議員たちは、この1億5千万円問題についても追及する構えだ。丁々発止の論戦では、思わぬ本音が飛び出すこともある。首相の答弁次第では、桜を見る会の問題などをめぐり野党内に渦巻く「長期政権のおごり」への批判が、自民党内にも広がりかねない。

きょうの野党の質問者は江田憲司氏、大串博志氏、黒岩宇洋氏、今井雅人氏、大西健介氏の5人。午後5時ごろに散会する予定となっている。

11:00

中東派遣の自衛隊、「迅速に対応できるか」

元防衛相の小野寺五典氏（自民党）は質問で、中東海域への自衛隊派遣を取り上げた。小野寺氏は「不測の事態が起きて、（自衛隊法に基づき）海上警備行動を出した場合でも、活動には制約がある」と指摘した。

小野寺氏が特に指摘したのは「日本関係船舶」について。日本の会社が運航する外国船籍の船だ。日本に石油などを運ぶ船のうち、多くがこの日本関係船舶だという。

海上警備行動が発令された場合、自衛隊は日本船籍の船を守るために武器を使用することはできるが、日本関係船舶や外国籍の船を守るために武器を使用することはできない。小野寺氏は「拡声機で呼びかけて抗議したり、自衛官が自らを盾にして守ったりすることしかできない。迅速に対応できるのか」と質問した。

これに対し、河野太郎防衛相は答弁で「日本関係船舶には、呼びかけや近接といった実力行使をとまわらない措置を行うことができる。外国籍の場合でも、通報や人命救助など人道上必要な

措置は行える」として、対応できるとの考えを示した。

キーワード解説

「自衛隊の中東派遣」とは？

政府は、中東海域で航行する日本関係船舶の安全確保のための情報収集を目的として、海上自衛隊を派遣した。P3C 哨戒機と護衛艦が任務に当たる。根拠法は防衛省設置法に定められた「調査・研究」で、不測の事態になれば自衛隊法に基づいて「海上警備行動」を発令する。活動期間は1年間で、延長する場合は再度、閣議決定する。

安倍政権は昨年末、派遣を決めたが、その後、イラン革命防衛隊司令官殺害と、それに報復するイランのミサイル攻撃があった。
10:30

自民が緊急役員会、新型肺炎の水際対策の必要性強調

中国・武漢市（湖北省）で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の拡大を受け、自民党は27日午前、党本部で緊急の役員会を開いた。会議の冒頭、二階俊博幹事長は「在留邦人の安全確保に最優先で取り組まなければならない」と指摘。国内での感染拡大防止に向けた水際対策の必要性を強調し、政府側に対応を求めた。

10:20

豚コレラ、アグー豚の移動費負担に言及

衆院予算委員会では、沖縄県でCSF（豚コレラ）に感染した豚が見つかったことを受けたやりとりも行われた。江藤拓農林水産相は「海を隔てた沖縄で発生したことは大きな衝撃だ」として、「沖縄固有種のアグー豚について、沖縄の協力と判断があれば、国が100%移動費、それから施設整備含めて隔離、種の保存のための移動をさせていただく」と述べた。

自民党の金子恭之氏の質問に答えた。

アグーは沖縄固有の豚で、小型の「島豚」が由来とされる。沖縄県が実施している殺処分の対象には、在来種のほか西洋種をかけ合わせて肉質が人気の「アグーブランド」も含まれる。肉質は独特の霜降りで、脂身の独特の甘みとうまみに定評がある。

沖縄戦や外来種の輸入などにより、アグーは1981年ごろには30頭ほどまで激減。その後ブランド化に成功し、現在は県内で約1100頭ほど飼育されている。CSF拡大の懸念がこれ以上あれば、海を渡っての隔離の必要性が出てくる。農水相の答弁は、その予算をすべて国が負担することを約束したものだ。

09:50

25兆円の経済対策、首相「三つの柱が…」

安倍晋三首相は、総事業費25兆円の経済対策の意義を語った。「三つの柱がある。一つは自然災害からの復旧・復興。米中貿易摩擦、英国のブレグジット（EU離脱）など、海外発の下方リスクへの万全の備え。加えて東京五輪・パラリンピック後の力強い成長を実現するためのものだ」と答弁。さらに、「次代の競争力の源泉となる分野への大胆な投資」として、すべての小中学生に1人1台のIT端末をそろえることをめざすと語った。

また、西村康稔経済再生相は経済対策の背景について、「我が国経済は緩やかな回復を続ける中にあるが、世界経済の減速を背景に輸出、生産は弱含んでいる。台風など相次ぐ自然災害、11月以降の暖冬、前回ほどではないが消費税引き上げに伴う影響がみられ、消費者マインドは依然として低水準」と語った。自民党の

金子恭之氏への答弁。



衆院予算委で答弁する安倍晋三首相

=2020年1月27日午前9時51分、岩下毅撮影
寸評=今野忍記者

自民質問者、首相を手放しに称賛

午前には与党による質疑で、昼前まで自民党議員の質問が続きます。質問者の「トップバッター」福井照氏は新型コロナウイルスをめぐる安倍晋三首相の対応について、「総理のご決断に改めて敬意と感謝を捧げたい」「安倍総理の完璧なまでのリーダーシップに敬意を表したい」と手放しに称賛を繰り返しました。

与党議員によるこうした「ヨイショ質問」は、実は珍しくありません。昨年10月の参院予算委員会でも、世論の賛否が割れていた日米貿易協定をめぐる、自民で外務省出身の松川るい氏が「安倍総理、茂木大臣の卓越した外交能力、交渉能力により、非常に良いタイミングで短期間にまとめてくださったことを、日本国民を代表して感謝したい」と質問。安倍政権の対応を褒めちぎりました。

議院内閣制のもとで政権を支える与党議員が、政策の方向性などで首相らと足並みをそろえること自体には、それほど違和感はありません。

しかし、国会の重要な役割は「行政監視機能」です。与党議員だからこそ、野党議員には入らない情報や資料を官僚から得ることもできるかもしれません。「ヨイショ」に終始するのではなく、時には政権に対案を突きつけるような骨太の議論を見せてもらいたいものです。



衆院予算委で質問する自民党の福井照氏

=2020年1月27日午前9時1分、伊藤進之介撮影
寸評=三輪さち子記者

予算委、首相の出席は減る傾向

安倍晋三首相が出席し、今年初めての予算委員会がいよいよ始まりました。衆院では今日と明日、参院では29、30日の2日間ずつの補正予算案審議、さらに31日には各院で集中審議が開かれることが決まっています。首相が出席する予算委員会は「国会の花形」。テレビで中継され、質問者には知名度が高く、鋭い質問で知られる「論客」たちが選ばれます。

ところが、首相が出席する予算委の日数はこのところ減る傾向にあります。昨年の通常国会は衆参計20日間で、第2次安倍政権では最短記録でした。第2次政権発足直後の2013年に比べると、3分の2以下になっています。

首相が出る予算委の日数はどう決まるのでしょうか。与野党の交渉で決まります。慣例的に、政府予算案が審議入りした直後の数日と、採決する直前に開催されます。それに加え、国民的な関

心が高い問題が起きた場合には、首相が答弁に立つ集中審議というのにも開かれます。

政権を取り巻く疑惑が多い時には、野党は予算委を開くよう求め、与党は渋る傾向があります。世論の動向を見極めながら、与野党が駆け引きします。予算委の日数は、与野党の国会攻防における重要な交渉カードなのです。

09:05

新型肺炎、首相「指定感染症に」

衆院予算委員会の冒頭は、中国・武漢市（湖北省）で発生した新型コロナウイルスによる肺炎拡大について取り上げられた。安倍晋三首相は28日の閣議で感染症法の「指定感染症」に指定する方針を明らかにした。首相は「新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向けて、全力をあげて取り組んでいく」と答弁。自民党の福井照氏の質問に答えた。



首相官邸に入る安倍晋三首相=2020年1月

27日午前7時14分、岩下毅撮影

06:55

新型肺炎、「官邸対策室」に

中国・武漢市（湖北省）で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の拡大を受け、首相官邸は27日朝、危機管理センターに設けた「情報連絡室」を26日夜に「官邸対策室」に改組したことを発表した。態勢強化の一環だ。

みどころ解説=斉藤太郎記者

開会前のみどころ

衆院予算委員会が午前8時58分、始まった。安倍晋三首相が約2カ月半ぶりに国会の予算委の答弁に立つ。首相が「一問一答」形式の国会論戦に臨むのは、「桜を見る会」問題が噴出した昨年11月8日の参院予算委以来だ。野党からの厳しい追及が予想される。

桜を見る会の招待者名簿の違法管理問題、カジノを含む統合型リゾート（IR）事業をめぐる汚職事件、公職選挙法違反が指摘された「辞任閣僚」関連先への家宅捜索――。野党が求めてきた予算委開催を与党が拒否している間に、政権をめぐるさまざまな問題が浮上した。

朝日新聞の世論調査では、昨年12月に内閣支持率は38%に下落。1年ぶりに不支持率が上回った。

そして迎えるこの日の衆院予算委。厳しく追及する場を待ち望んでいた野党議員たちの質問と、正念場を迎えた首相の答弁がかみ合うか。建設的な論戦が交わされるかが注目される。

午前の質問者は与党のみ。自民党の福井照氏、金子恭之氏、阿部俊子氏が防災・減災対策などを取り上げた後、午前11時ごろから小野寺五典・元防衛相が中東海域への自衛隊派遣をめぐる政府の見解をただす予定だ。正午から午後1時までの休憩時間をまたぐ格好で公明党の国重徹氏が質問し、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大への対策などを取り上げる見通し。

野党議員に質問時間が回ってくるのは、午後1時半過ぎとみられる。野党統一会派の江田憲司氏、大串博志氏、黒岩宇洋氏、

今井雅人氏、大西健介氏の5人が次々と質問に立ち、桜を見る会問題やIR汚職事件などをめぐり首相を問いただす展開となりそうだ。午後5時ごろに散会する予定。